

イベント概要

[企業名] 日本製紙株式会社

[企業 ID] 3863

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 決算説明会

[イベント名] 2025 年度 第 3 四半期決算説明会

[決算期] 2025 年度 第 3 四半期

[日程] 2026 年 2 月 6 日

[時間] 17:30 – 18:10
(合計：40 分、登壇：10 分、質疑応答：30 分)

[開催場所] インターネット配信

[登壇者] 6 名

執行役員 管理本部長	的場 宏充 (以下、的場)
執行役員 企画本部長	佐野 孝典 (以下、佐野)
経理部長	小出 亮 (以下、小出)
経営企画部長	山口 崇 (以下、山口)
経理部長代理	近藤 和久 (以下、近藤)
経営企画部 主席調査役	稲村 卓磨 (以下、稲村)

連結損益概要

	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	8,863	8,895	32	0.4%
営業利益	111	150	39	35.5%
経常利益	128	140	12	9.0%
当期純利益*	1	78	77	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、紙・板紙事業で減少したものの、生活関連事業の売上高拡大により、前年同期比で増収。
- 営業利益は、Opalの収益改善や、前年度に大規模メンテナンスを行った日本ダイナウェーブパッケージング（NDP）が平常操業に戻ったことで、前年同期比で増益。
- 特別利益は、政策保有株式などの有価証券売却益や、退職給付信託返還益を計上。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 2

的場：日本製紙の的場でございます。本日はよろしくお願いたします。2025年度第3四半期決算概要についてご説明をさせていただきます。

こちらは業績の概要となります。

まず売上高は、紙・板紙事業で輸出市況悪化による減収があったものの、生活関連事業では2024年度に稼働したクレスア宮城工場の効果が全期間にわたり寄与したこと、またケミカル製品の販売が伸長したことなどにより、売上高は対前年32億円増収の8,895億円となりました。

損益については、Opal社の収益改善や、日本ダイナウェーブパッケージング社で昨年実施した大規模メンテナンス休転の影響が解消されたことなど、主に海外事業で増益となり、営業利益は対前年39億円増益の150億円となりました。

特別損益については、2024年12月に発生した日本製紙八代工場のボイラートラブルの復旧費用や、Opal社の労働争議による操業停止損失を計上しましたが、政策保有株式の売却による有価証券売却益や退職給付信託返還益を計上しました。

以上の結果、経常利益は140億円、当期純利益は78億円となりました。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比
紙・板紙	4,294	4,187	▲107	68	▲2	▲70
生活関連	3,431	3,604	173	▲69	42	111
エネルギー	355	314	▲41	20	18	▲2
木材・建材・ 土木建設関連	557	557	0	61	69	8
その他	226	233	7	31	23	▲8
合計	8,863	8,895	32	111	150	39
国内	6,877	6,878	1	246	189	▲57
海外	1,986	2,017	31	▲135	▲39	96

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 3

セグメント別の売上高と営業利益はご覧のとおりです。

売上高は、生活関連事業、その他事業で増収、紙・板紙事業、エネルギー事業で減収となり、トータル 32 億円増収の 8,895 億円となりました。

営業利益は、紙・板紙事業やエネルギー事業、その他事業で減益となりましたが、生活関連事業が海外事業を中心に増益となり、対前年 39 億円増益の 150 億円となりました。詳細は後ほどセグメント別業績のところで説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業		生活関連事業	
数量・売価	22	▲22	—	44	—
原燃料価格	19	9	チップ▲5、古紙▲22、パルプ 4、重油▲5、石炭 38、LNG 4、薬品他▲5 (価格影響 ▲5、為替影響 14)	10	パルプ 4、石炭 2、薬品他 4
コストダウン等	▲56	▲43	原価改善 ▲13、白老・八代停機影響 4、労務費▲14、物流費▲20	▲13	原価改善 2、労務費▲7、物流費▲8
その他	56	▲14	海外事業 ▲6、減価償却 6、退職給付費用 ▲10、受払影響ほか ▲4	70	海外事業 97(Opal 42、NDP 55、TSP 0)、減価償却 3、受払影響ほか ▲30
合計	41	▲70	国内▲64、海外 ▲6	111	国内 14、海外 97
その他事業	▲2	エネルギー ▲2、木建土 8、その他 ▲8			
営業利益	39				
営業外損益	▲27	金融収支 ▲11、持分法投資損益 ▲36、為替差額 38、その他 ▲18			
経常利益	12				

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 4

増減要因の内訳はご覧のとおりとなります。

まず紙・板紙事業は、対前年で70億円の減益となりました。

数量・売価は、輸出市況の悪化が影響し、マイナス22億円となりました。原燃料価格は、古紙価格の高止まりによるマイナス影響がありましたが、石炭等燃料価格が安定して推移し、トータル9億円の増益となりました。コストダウン等は、労務費や物流費が上昇したこと、また日本製紙八代工場の原価改善が悪化した影響などで、合計43億円のマイナスとなりました。

生活関連事業は、対前年で111億円の増益となりました。

国内事業は、パッケージでの価格修正効果、家庭紙・ヘルスケア、ケミカルでの販売数量増加および価格修正効果により増益となっております。海外事業は、Opal社の収益改善や、前期に大規模なメンテナンス休転を実施したNDP社が平常操業に戻ったことにより、大幅な改善となりました。

その他事業については、エネルギー事業は2億円の減益、木材・建材・土木建設関連事業は8億円の増益、その他事業で8億円の減益となっています。この、その他事業での8億円の減益については、セグメント間取引消去等による調整額によるものとなります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



紙・板紙事業

(億円)

売上高			営業利益		
2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比
4,294	4,187	▲107	68	▲2	▲70

- 国内
 - ・ 洋紙の輸出市況の悪化や、板紙の国内需要が低調に推移し、前年同期比で減収。
 - ・ 石炭等燃料価格は安定して推移したが、労務費・物流費のコストアップにより、前年同期比で減益。
- 海外
 - ・ 十條サーマル(JTOy)は、欧州市場での感熱紙需要の低迷が続き、前年同期比で減益。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 5

ここからはセグメント別業績について説明いたします。

まず、紙・板紙事業についてです。

国内事業の売上高は、洋紙の輸出市況の悪化や国内の板紙需要が低調に推移したことなどにより、減収となりました。営業利益は輸出市況の悪化、労務費・物流費の上昇などにより、減益となっています。

海外事業の十條サーマルは、ヨーロッパ市場での感熱紙需要の低迷が続いており、前年同期比で減益となりました。

以上の結果、紙・板紙事業は前年に対し減収減益となっております。なお、紙・板紙事業については3Q累計で2億円の営業損失となっておりますが、3Q単独では営業黒字に転換しております。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益			
	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比	
国内	1,697	1,811	114	83	97	14	パッケージ 1、ケミカル 8 家庭紙・ヘルスケア 5
海外	1,734	1,793	59	▲152	▲55	97	Opal 42、NDP 55、TSP 0
合計	3,431	3,604	173	▲69	42	111	

- 国内
 - ・ 家庭紙の投資効果の拡大などにより販売数量が増加。
 - ・ 労務費や物流費の上昇があったものの、価格修正効果の発現などにより、堅調に推移。

Opal	数量・売価 17、原燃料価格 ▲13、 原価改善 22、のれん 8、その他 8
NDP	数量・売価 40、原燃料価格 ▲12、 固定費 9、その他 18

- 海外
 - ・ Opalは、メアリーベール工場の原価改善(原単位改善、操業効率改善など)により赤字縮小。
 - ・ NDPは、前期の大規模メンテナンスの影響が解消され、販売数量が増加したことで大幅改善。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 6

次に、生活関連事業の業績についてご説明いたします。

国内事業は、クレスシア宮城工場への投資効果が全期間で寄与したことや、ケミカル事業の機能性フィルムがモバイル端末の買い替え需要等が堅調であったことなどにより、販売数量が増加しました。またコスト面では、紙・板紙事業と同様に労務費や物流費などの上昇がありましたが、パッケージや家庭紙での価格修正効果が発現し、国内事業は堅調に推移しました。

国内は3Q累計で、対前年で増益に転じております。

海外事業は、前年同期比で97億円の増益となりました。Opal社はメアリーベール工場の原単位改善や操業効率改善などの原価改善効果により、前年同期比で42億円の改善となりました。主な内訳は表に記載してあるとおりとなります。

北米のNDP社は、前期に寒波による操業トラブルや大規模メンテナンス休転の影響がありましたが、その影響が解消され、販売数量が増加したことで、前年同期比で55億円の増益となりました。こちらも内訳は表に記載したとおりとなっております。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2025年度 第3四半期決算



エネルギー事業

(億円)

売上高			営業利益		
2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比
355	314	▲41	20	18	▲2

・販売電力価格の低下によって前年同期比で減収減益。

木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

売上高			営業利益		
2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年 同期比
557	557	0	61	69	8

・国内のバイオマス燃料の需要増加などにより、増収増益。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 7

エネルギー事業は、メンテナンスの休転日数の増加や、石炭価格の下落に伴う販売電力価格の低下によって、減収減益となりました。

木材・建材・土木建設関連事業は、新設住宅着工件数が減少したものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどで、増収増益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2025年度 業績予想



連結損益概要

(億円)

	2024年度 実績	2025年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,824	12,000	176	1.5%
営業利益	197	300	103	52.2%
経常利益	155	240	85	54.8%
当期純利益*	45	100	55	120.3%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 2025年度の業績予想は、2025年11月6日に公表した内容から変更ありません。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 8

2025年度の通期の業績見通しにつきましては、11月6日に公表した内容から変更はございません。

以上をもちまして、2025年度第3四半期決算概要の説明を終わります。ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com